

# 明治大学大学院経営学研究科 修士学位取得のためのガイドライン

## 【本研究科で授与する学位】

経営学専攻      修士（経営学）      Master of Business Administration

## 【修士学位請求の要件】

### 在学期間

本研究科博士前期課程（修士課程）に2年以上在学し、所定の研究指導を受けていること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本研究科委員会の議を経て、博士前期課程（修士課程）に1年以上在学すれば足りるものとする（要修業年限短縮申請）。

### 単位要件

#### (1) 修了要件

- ① 博士前期課程においては、36単位以上を修得しなければならない。
- ② リサーチコースを選定した者は、本研究科の授業科目の中から指導教員の専修科目（演習）を選定し、その演習8単位及び指導教員の講義4単位並びに外国文献研究から2か国語各4単位、計8単位の20単位を必修とする。なお、演習4単位は第1年次及び第2年次に履修するものとし、それ以外の授業科目から16単位以上を修得しなければならない。
- ③ マネジメントコースを選定した者は、本研究科の授業科目の中から指導教員の専修科目（演習）を選定し、その演習8単位及び指導教員の講義2単位の10単位を必修とする。なお、演習4単位は第1年次及び第2年次に履修するものとし、その科目以外の授業科目から26単位以上を修得しなければならない。

(2) 上記に定める単位を修得し、その成績が平均「B」（2006年度以前の入学者は「良」）以上の者。

### 研究指導

以下に掲げる本研究科学位請求までのプロセスを経ている者とする。

## 【学位請求までのプロセス】

### 研究指導体制

入学志願時に指名し、承認を得た指導教員が修士学位取得のための研究指導を行う。院生は1年次の始めに指導教員の指導のもとに研究計画を立て、指導教員の許可を得たうえで研究計画にそった履修計画書を作成する。指導教員は、研究計画に基づき演習や講義を通じて研究テーマに関連した幅広い知識と学位請求に必要な理論的・実証的な研究方法を修得させる。

**1年次** 各自の研究テーマに関係する文献・資料などの収集、様々な調査活動と講義、演習などを通じて具体的な論文テーマを絞り込む。

**2年次** 指導教員による個別論文指導により、研究テーマをさらに掘り下げ、研究論集・学会誌等への投稿を経て修士論文として作成する。

## 【修士論文に求められる要件】

経営学研究科にはリサーチコースとマネジメントコースの2コースが設置されており、両コースとも指導教員による研究指導を受け修士論文を作成することとなっているが、マネジメントコースの学生については指導教員の許可を得て、課題研究レポートを提出することもできる。

修士学位論文は、4万字以上で作成され、広い視野に立った精深な学識と専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を示すと認められるものでなければならない。

課題研究レポートは、マネジメントコースが社会人として実務の世界で修得してきた知識を理論的に掘り下げて学ぶ社会人再教育型コースとの位置づけから、基本は修士論文と同様の要件とするが、作成文字数は2万字以上とし、多少社会人に配慮したものとなっている。

## 【修士学位請求論文等の提出書類・提出期日】※詳細は「修士学位請求論文」等提出・作成要領参照

### 予備登録

- (1) 予備登録時期は論文提出年度の10月上旬とする。
- (2) 論文提出予定者は、必ず指導教員と相談のうえ、論文題名（仮題でも可）を登録すること。
- (3) 予備登録時に「論文作成・提出要領」の他、「修士学位請求書」及び論文用「扉」を受け取ること。

### 論文提出（マネジメントコースの修了予定者は課題研究レポートを提出することで修士学位請求論文に代えることができる）

- (1) 論文提出時期は論文提出年度の1月上旬とする。
- (2) 詳細は予備登録時に配付する「作成・提出要領」にて確認すること。
- (3) 論文提出受付は、指定提出日・指定時間内のみとする。提出締め切り時間経過後は、理由の如何を問わず受け付けられないので、十分注意すること。

### 提出書類等

- (1) 「修士学位請求書」1通  
必要事項を記入のうえ、指導教員の承認印をうけ提出すること。  
※この請求書に記載された論文題名を正とする。  
なお、論文題名に副題がある場合は、ダッシュ（－）で最初と最後を括ること。
- (2) 「修士学位請求論文」3冊または課題研究レポート3冊（マネジメントコース）  
（下記①～⑥により完成されたもの）
  - ①用紙：A4判（横書き又は縦書き）  
図表・資料もA4版で作成すること。
  - ②字数：修士論文4万字以上、課題研究レポート2万字以上  
※必ずページ番号を付すこと。
  - ③書式：制限なし（指導教員の指示に従うこと。）  
※縦書きの場合は2段組にする等、読みやすいよう配慮すること。（論文要旨も同じ）
  - ④論文用「扉」（事務室で配付）：3部作成  
研究科・指導教員氏名・本人氏名を記入し、それぞれ論文の最初に綴じ込むこと。
  - ⑤表紙・背表紙：年度・論文題名・所属研究科名・専攻名・氏名を記入すること。
  - ⑥装丁は市販の穴をあけない方法で綴じることのできるファイルを使用すること。
- (3) 「修士学位請求論文要旨または課題研究レポート要旨」3部  
A4版、3000字程度（修士学位請求論文要旨）、2000字程度（課題研究レポート要旨）で作成し、表紙には論文題名（課題研究レポート題名）、所属研究科名・専攻名・氏名等を明記のうえ、ホッチキスでしっかり綴じ、それぞれの論文に挟み込むこと。
- (4) 面接通知用はがき1通

## 【学位審査の概要】

### 指導教員による承認

修士学位を請求しようとする者は、修士論文提出要件を満たし、指導教員から当該論文の内容・水準・形式について確認及び指導を受け、指導教員が修士学位請求に十分な水準であるとの判断をした場合に、論文を提出することができる。

### 研究科委員会での受理

研究科委員会は、学位請求論文に対して受理を決定し、主査1名及び副査2名以上（副査には他研究科・他大学等の研究者を選定することがある）の審査委員を選出する。

### 審査委員による面接諮問

(1) 審査委員は、当該学位請求論文を中心としてこれに関連ある科目について、試問の方法により審査を行う。審査終了後、審査委員は研究科委員会に合否の提案とその理由を記した審査結果報告書を提出する。

(2) 面接諮問は論文提出年度の2月上旬に実施する。

### 研究科委員会の合否判定

研究科委員会は審査委員からの報告をもとに、審議のうえ合否を決定する。研究科委員会で合格と認められた者には、修士学位が授与される。

## 【合否判定後の論文の取扱いについて】

- (1) 審査に合格した論文については、提出した論文3冊のうち、1冊は大学院で製本・保存し、残り2冊を各自に返却する。
- (2) 論文の返却の際、希望者には各自申込・製本代金負担のうえ、大学が製本するものと同じ体裁で製本した論文を返却する。

### 修士論文（課題研究レポートを含む）の閲覧制度について

本学では、大学で保管する修士論文について、本学大学院学生の教育・研究に役立てるため、本学大学院学生による閲覧を許可していますので、予めご了承ください。

( 修 士 )

学 位 請 求 書

年 月 日

明治大学大学院

経営学研究科委員長 殿

経営学研究科 経営学専攻

氏名 印

明治大学学位規程第5条の規定に基づき、下記によって修士（経営学）の学位を請求いたします。

論 文 題 名			
指 導 教 員 名			論 文 部 冊 要 旨 冊
本 籍 地	現 住 所	〒 TEL	
生 年 月 日	年 月 日	年度入学	学籍番号

委 員 長		専 攻 主 任		指 導 教 員 承 認 印	
-------	--	---------	--	------------------	--

